



2019年8月28日

各 位

会 社 名 株式会社エイチ・アイ・エス
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 社長執行役員
グループ最高経営責任者 澤田 秀雄
(コード番号 9603 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役 連結財務・経理担当 中谷 茂
(TEL 03-6388-0707)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年12月11日に公表いたしました2019年10月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2019年10月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年11月1日～2019年10月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	786,000	20,000	21,000	11,000	191円86銭
今回修正予想 (B)	800,000	16,000	15,300	9,600	167円33銭
増減額 (B-A)	14,000	△4,000	△5,700	△1,400	—
増減率 (%)	1.8	△20.0	△27.1	△12.7	—
(ご参考) 前期実績	728,554	18,083	19,499	11,067	192円96銭

(注) 2019年第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、(ご参考) 前期実績の数値においては暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 2019年10月期通期連結業績予想数値の修正理由

第3四半期連結累計期間の実績に加え、下記の要因により通期連結業績予想数値を修正するものであります。

(1) 売上高の修正の主な理由

旅行事業におきまして、主に第3四半期連結会計期間よりRED LABEL VACATIONS INC.を連結の範囲に含めたことに加え、日本発海外旅行も好調なことにより、前回発表数値から140億円増加の8,000億円と見込んでおります。

(2) 営業利益の修正の主な理由

順調な日本発海外旅行の売上高の増加の一方で、訪日旅行において市場環境の変化による価格競争の激化により利益率が想定以上に悪化しております。また、ハウステンボスにおいて想定以上に入場者数が減少したことやホテル事業において第3四半期連結会計期間に一括してバ

ランスシートの健全化を図ったこと等により、前回発表数値から40億円減少の160億円と見込んでおります。また、夏季以降の情勢不安定による韓国及び香港への旅行者数減少の傾向が見られます。なお、現時点では当期の業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

(3) 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の修正の主な理由

営業利益の減益要因に加え、今後も円高基調が続いた場合、外貨建資産の評価損（為替差損）が発生することが見込まれます。（約13億円。1米ドル=105円で試算。）

ただし、実際の業績は期末の外貨建資産の残高及び為替レートによって、変動する可能性があります。

なお、第3四半期連結累計期間の実績については、本日開示しております「2019年10月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以 上